

# せりたより

二(行)二(発)  
茅田地区  
住民自治協議会

## 荒木・旧北国街道 ちよこつと見聞録

荒木地区は、町の中心に「北国街道」と呼ばれた道が通っています。「歴史が詰まったおもしろい通りなんです」と、先日、区長の丸山さんから「歴史探検あらしき」北国街道をぞろぞろ歩き〜なる冊子をもらいました。今から8年前に「荒木歴史探検隊」という町の有志が専門家の協力も得て自分たちで



### 教えてくれた 荒木区長



丸山守三(70)

子どもの頃は毎日木留神社で遊んでました

区の仕事は計16年やっています。そのうち12年は神社の氏子の仕事だったんです。直会の席などで宮司の話が繰り返して聞くことができて「荒木の北国街道は元は北国街道ではなかったけれど、善光寺参拝にみんな利用するから後から認定された」とか、そういう話もいろいろ頭にハマりました(笑)



身長186cm! 裾中から始めたバスケットでインカレ出場。長野国体の選抜メンバーにもなったとか

丸山さんが四代目を務める魚屋「丸山商店」の看板に「食料品(食塩)」の文字を発見。北国街道のなごりを感じました

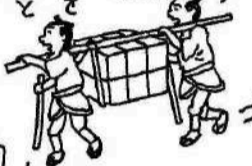


※現在小売りはしておらず市立の保育園などに卸しているとか

丸山商店

江戸時代、信州を通過して北陸地方へと続いた道。佐渡で採掘した金銀、参勤交代の大名や藩士、海産物や米穀類、絹、生活用品などを運んだり、善光寺参りの旅人などが行き来する重要な道だった。

### 北国街道



### 創業昭和26年/ 信州産大豆100%使用の 日本で唯一の納豆メーカー 村田納豆



長野ではツルヤやデリシアなどで1~2品は並んでいると思います。定番商品は全国納豆品評会で一位を獲得した「道祖神納豆」ですがおすすめはたくさんありますよ。



村田 英彦(32)  
(将来の四代目)

県外で就職した2年前に入社した家業に帰郷した

直販所  
右側には自社工場があり、毎月月末にはここでしか買えない「温泉たまご納豆」が登場する



美味!! ドライ納豆  
「麺いらず」は絶妙な塩味で一瞬で完食しました!



パッケージがかわいい

今から約200年前にできた北国街道でも、とても古い灯。犀川を渡った参拝者たちに「ここからが善光寺の参道」という目印になっていた。

### 永代常夜灯



### 善光寺七社の一つ 木留神社



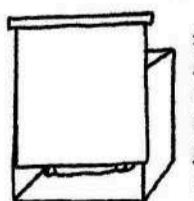
その昔、焼失した善光寺本堂の再建木材を犀川で運んだ際洪水で流されそうになったが、この神社の御祭神が現れ木材を留めてくれたことから御祭神の名を「木留大明神」、社を「木留神社」と呼ぶようになったらしい。



当時の神額  
由緒ある神額

### 社会II社で会った 木留神社は 荒木の要所

丸山さんに木留神社を案内してもらい、境内倉庫の中でオリジナルの収納箱に収められたる基の御神輿も見せてもらいました。収納箱は荒木にお住まいの工務店をやられている方が作ったそうで、昔、旧



北国街道沿いに、と商店が並んでいて、何かあれば「よし、俺に任せろ」と、設備屋さんや板金屋さんなどが社まわりを手入れしてくれたりするんです。今でも、元氏子総代会長の岡宮さん(建築士)が耐震計算をして本殿前面に補強壁を建て付けたり、2~3年前から年中

### 『歴史探検あらしき』を作成 荒木歴史探検隊 発起人に聞く



木留神社  
氏子総代会長  
(荒木元区長)  
山口英男(72)

木留神社には毎朝手を合わせに行ってます。願い事じゃなくて、目標とか自分を見つめ直す時間にしてるかな

区長時代に町の先輩から「今ならまだ資料も話せることもあるからまとめてくれないか」と声がかかり、町内の有志9人と平成29年に「荒木歴史探検隊」を作りました。担当を決めて歩いたり聞き取りしながら、1年くらいかけてまとめたものが『歴史探検あらしき〜北国街道をぞろぞろ歩き〜』です。

「善光寺参拝に来た人が丹波島の渡しより北国街道沿いに色々なものを見る」という設定にして、中学生でも読めるよう、分かりやすくまとめました。荒木で生まれ育った子どもたちがいつか進学や就職でこの地を離れても、「自分が育った町はこんな町なんだ」と言えることがアイデンティティや誇りにつながるんじゃないかと僕は思うんです。



※今号の裏面はありませぬ



行事に加わった「茅の輪くぐり」では氏子総代会長の原さんを中心に町の人たちで茅の輪を作ったりもしている。そう、四季折々の行事などを通じて荒木の人たちがカや顔を合わせる木留神社は町の要所なのだと感じました。